

安全運転のポイント 雨の日編

雨天時の事故率は晴天時の約5倍

※首都高速道路株式会社データ(平成27年度)より

雨の日にバイクを運転していたら、
マンホールの上で滑って転んでしまった(T_T)



注意すべきポイントと対策

1 停まりにくい ●スピードを抑えた運転を心がけましょう



ポイント

・雨天時の路面は滑りやすく、乾燥した時よりも車の停止距離が長くなります。
・雨の降り始めは、特に滑りやすいので注意が必要です。(道路上の泥やほこりが雨に混じって、油を引いたような状態になります。)

対策

◇スピードを抑え、車間距離を十分に確保しましょう。
◇「追越」はスピードの出し過ぎにつながりやすいので、避けましょう。

2 視界が悪い ●安全確認をしっかりと行いましょう



ポイント

・雨天時は視界が悪いため、危険の発見も遅れやすくなります。
・側方や後方はガラスやサイドミラーについた水滴で特に見えにくいので、安全確認が不十分になりがちです。

対策

◇スピードを抑えるとともに、早めのライト点灯などで、早期に危険を発見し、事故を防ぎましょう。
◇バック時は、慎重に後方を確認し、いつでも停止できる速度で運転しましょう。

3 危険な行動に遭遇する ●歩行者や自転車の動きに注意しましょう



ポイント

・雨天時の歩行者や自転車は、早く目的地へ行こうと急ぎがちです。
また、傘をさすことで視界が狭くなり、車に気づかないことがあります。そのため、安全確認が不十分のまま道路を横断するなどの危険な行動が増えます。

対策

◇歩行者や自転車が車に気付いていないと考え、慎重な運転を心がけましょう。
◇ライトを積極的に点灯し、自車の存在を知らせましょう。

お得

住商グループ専用の自動車保険をご存知ですか？

なんと、今の割引等級を活かしたままさらに24.5%OFF! (※)

住友商事グループ専用『自動車保険』はこちらから ⇒
『住商グループあんしんサイト』



住商インシュアランス株式会社は、住友商事100%出資の事業会社です。
住友商事グループ各社の事業活動や住友商事グループ従業員の皆さまの日常生活をお守りするため、様々なリスクについてご説明するとともに、生命保険や損害保険を活用し、そのリスクの転嫁策をご提案いたします。

※ 大口団体割引は2025年1月1日から2025年12月31日の間に始期日があるご契約に適用されます。
なお大口団体割引は団体全体のお引受実績に応じて毎年1月1日に見直されます。